

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	21-002	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
The correlates and extent of prescribing of medications for alcohol relapse prevention in England 英国におけるアルコール依存再発予防薬の処方と関連因子		
執筆者		
Donoghue K.		
掲載誌		
Addiction. 2021 Nov;116(11):3019-3026. doi: 10.1111/add.15502.		
キーワード		PMID
アルコール依存症、再発予防、処方、依存症治療薬		33788332
要 旨		
<p>目的: 英国におけるアルコール依存再発予防 (ARP) のための薬物処方割合と関連因子を明らかにする。</p> <p>方法: 英国の National Drug Treatment Monitoring System 利用者 (主にアルコールを依存物質とする) を対象とした横断研究。2013 年 4 月～2016 年 3 月の期間に治療を完了した 18 歳以上男女計 188,152 人を対象とした。ARP のための薬剤処方を従属変数とし、対象者背景および治療、臨床的背景をすべてロジスティック回帰モデルに投入し、関連のある因子を探索的に抽出した (調整オッズ比 (aOR)、95%信頼区間 (95%CI))。</p> <p>結果: ARP に対する薬剤処方割合は、2013 年度 2.1%、2014 年度 6.8%、2015 年度 7.8% であった。処方と正関連を示した治療、臨床的背景は、アルコール依存度の深刻度 (合併症のない中程度依存 1.329 [1.244-1.419], 合併症のない重度依存 1.308 [1.188-1.441], 合併症を伴う中程度・重度依存 1.131 [1.020-1.255])、治療状況 (入院中 10.512 [9.950-11.104]、一次医療 2.264 [2.050-2.500]、居住 3.216 [2.807-3.685])、治療歴あり (1.242 [1.183-1.304])、治療期間が長いこと、過去 1 か月の飲酒日数、アルコール単位数が多いことであった。処方と正関連を示した対象者背景は、治療年度、年齢 (25-34 歳 1.622[1.380-1.907], 35-54 歳 1.901 [1.628-2.220], 55 歳以上 1.700 [1.446-1.999])、女性 (1.129 [1.077-1.184])、白人 (1.219 [1.077-1.380])、アルコール依存症の地方別有病割合 (中間層 1.121 [1.024-1.228]) などであった。ARP 薬剤処方と負の関連を示した因子は、アルコール普及率が低い地域であった (0.491 [0.436-0.552])。</p> <p>結論: 英国の ARP のための薬物処方割合は低く、それは特定の対象者背景、治療および臨床的背景と関連した。</p>		